



福渡病院だより

病院の理念

- ◎地域医療に努め
皆様に愛される
病院を目指します
- ◎人間愛を基本とし
最良の医療の
提供に努めます

第 22 号

2016 年 12 月発行

発行：岡山市久米南町組合立国民健康保険福渡病院
〒709-3111 岡山市北区建部町福渡 1000 番地
<http://www.fukuwatari-hp.jp/> TEL：086-722-0525



シンボルマークが決まりました

当院は昭和24年に開設されて以来、これまで岡山・津山の間において地域医療の中心的役割を担う公立病院として 地域住民の健康と福祉の向上に努めてきました。このたび、患者さんや地域の方々から一層親しまれ、愛され、信頼される病院を目指していくため、平成28年5月9日から6月3日までの間、シンボルマークの募集を行い、189点の応募がありました。

応募作品については、「コンセプトとの整合性」「親しみやすさ」「活用のしやすさ」などを選考基準として、病院の職員などにより選考を行った結果、次のとおりシンボルマークを決定しました。

採用作品に選ばれたシンボルマークは、ホームページ、パンフレット等の広報媒体、封筒、名刺等に幅広く使用します。



○受賞者

- ・最優秀賞（採用作品）
村上 金二 さん（岡山県倉敷市）
- ・優秀賞
松本 志保 さん（岡山県岡山市）



○シンボルマークと選考理由

この作品は、福渡病院の頭文字「F」を基本モチーフにしています。楕円部は平穏な地球環境を表し、それに包まれた旭川の清流を「福」の象徴である打ち出の小づちが「渡」っているところをイメージしたものです。



バスの試験運行開始

久米南町から当院までの「福渡病院通院バス」の試験運行が開始されました。お年寄りの多い当地域にとって、患者さんの足の確保は非常に大きな課題です。

久米南町のデマンド交通「カッピーのりあい号」を受託している株式会社エスアールティーにより平成28年10月21日から平成29年1月31日まで約3か月間続けられます。この試みが久米南町の住民の方の受診機会の確保に、そして医療提供体制の充実に役立つよう継続運行に期待しています。

末梢血管外科外来を開設



当院では岡山市立市民病院の協力を得て今年8月から末梢血管外科外来を始めました。松前 大（まさる）医師が担当し、診察日は毎月第3火曜日の午後です。

動脈のつまる病気（下肢閉塞性動脈硬化症）や足の静脈瘤などの治療を行います。治りにくい傷、はれ、足に不自由のある方はお気軽にご相談ください。



第53回 岡山県国保診療施設研究発表会が開かれる

恒例の岡山県国保診療施設研究発表会が平成28年10月23日に約120人の参加のもと岡山市北区のピュアリティまきびで、「地域を支える岡山の国保直診」をメインテーマに開かれました。

当院塩田院長が岡山県国保診療施設運営協議会代表として主催者挨拶を行ったあと、午前の研究発表の部で、当院の竹好香織管理栄養士が「当院NSTが関わり良好な経過をたどった2症例」と題して発表しました。

近年、高齢化に伴い摂食嚥下障害の患者が増加し症状によっては短期的に経腸栄養法、静脈栄養法が必要な場合が多々ある。NST（栄養サポー



トチーム) が介入することで、経口摂取が可能となりこれらから離脱できた2症例を発表しました。



午後からの「在宅医療の現状と今後の課題」をテーマとしたシンポジウムでは、当組合訪問看護ステーションの葛原君枝所長が、「在宅医療における訪問看護の関わり」と題して、県下で最も高齢化の進んだ中山間地に位置する当地域での看取りを中心とした当訪問看護ステーションの活動を報告しました。

塩田院長が「平成28年度へき地医療貢献者表彰」受賞



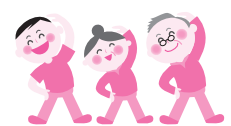
塩田院長が長年にわたって過疎地域の医療確保に尽力したとして、全国自治体病院開設者協議会会長及び公益社団法人全国自治体病院協議会会長からその功績を称え、平成28年度へき地医療貢献者表彰を受賞し、平成28年10月24日当病院組合管理者の大森雅夫岡山市長より伝達されました。

また、平成28年10月7日、8日に山形市で開かれた第56回全国国保地域医療学会において永年にわたり地域包括医療・ケアの推進に献身努力したとして公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長表彰を受賞しました。

転倒予防のための身体づくり



筋力トレーニングについて

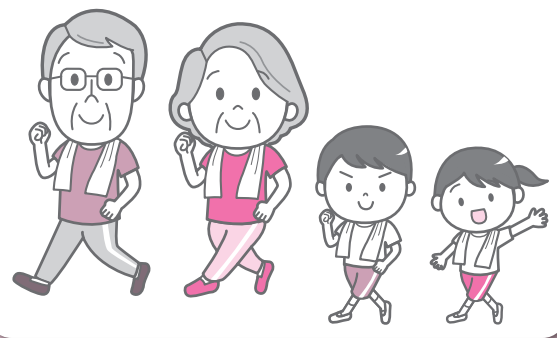


ストレッチを行った後に筋力トレーニングの運動を始めましょう。特に力強い足腰をつくることでバランス能力が向上し転倒予防になります。立って出来る運動としてスクワット、つま先立ち、もも上げは代表的な運動です。ゆっくりと10回繰り返します。

歩くことも全身の体力を高めてくれますが、正しい歩き方をすればさらに効果を発揮してくれます。目線はまっすぐ前、腕を前後にしっかりと振り、踵から足を下ろして足先で地面をけるように歩くことで自然と背筋が伸び良い姿勢が保てます。歩幅も普段よりも大きくする方が効果的です。

運動は週3回程度から始めて無理なく楽しく続けてください。運動の後にもストレッチを行いましょう。腰や膝などに痛みのある人は無理をせず主治医に相談し運動を行っていただく方が望ましいです。

(リハビリテーション科)



新採用職員の紹介

よろしく
お願いします



平成 28年 3月 1日付け
ふじた てつや
看護師 藤田 哲也



平成 28年 8月 1日付け
かたやま のぞみ
看護師 片山 望美

当院のおすすめメニュー

いっぺん作ってみられえ〜♪
簡単にできるでえ〜♪



鮭と冬野菜の 包み焼き (2人分)

免疫力を高める効果がある鮭と、食物繊維たっぷりの根菜を使った、寒い冬に手軽でおいしい一品を紹介します。



材料(2人分)

- 鮭……………2切れ(140g)
- れんこん……………60g
- ブロッコリー……………30g
- 玉ねぎ……………50g
- さつまいも……………40g
- 銀杏……………6粒

味噌 }
みりん } 各大さじ1杯
酒 }

※お好みで一味を振っても良いです

作り方

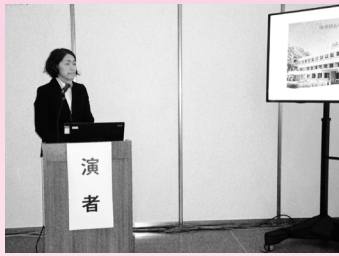
- ①れんこんとさつまいもは薄めに切る。ブロッコリーは小房に分け、玉ねぎは薄くスライスする。
- ②ホイルに野菜を置いて鮭を置き、合わせた調味料を上にかける。
- ③ホイルを包んでフライパンに置く。
- ④フライパンに水を1/2カップ入れ、ふたをして8~10分弱火で蒸

- し焼きにする。
- ⑤火を止めて1~2分置く。

1人分	エネルギー…	211 kcal
	たんぱく質…	19.3g
	脂質…	3.6g
	炭水化物…	21.4g
	食塩相当量…	1.2g
	食物繊維…	3.2g

(栄養科)

退院支援の取り組みを発表



平成28年10月7日、8日の2日間、山形市で第56回国保地域医療学会が開かれ、当院は初日のデジタルポスター発表形式により、金島敬子主任看護師が「マンパワー不足の中での退院支援の取り組み」と題して発表しました。

中山間地にある当院は患者の高齢化、要介護度が高く、独居や老々介護等退院支援困難者が多く見受けられる。また透析患者は施設入所に限りがあるため退院困難に陥りやすいなか、地域連携室をもたない当院病棟での退院支援の取り組みについて発表しました。

この学会などで発表することで、職員のスキルアップにもつなげています。来年は東京で開催されます。

建部中学校の2年生が体験学習

建部中学校2年生の津田恵さんと齋木成美さんが平成28年11月15日(火)から17日(木)までの3日間、当院で職場体験学習に取り組みました。看護部、薬剤部、放射線科、検査科、リハビリテーション科、透析室、栄養科、内視鏡室などで実際の仕事ぶりを見学し、病院は医師、看護師だけでなく多くの専門職の協働作業で成



り立っていることを知り貴重な体験だったようです。

血圧測定を体験

診療予定表 (2016年12月現在)

【受付時間】 午前 8:00 ~ 11:30 午後 1:30 ~ 4:00
【診療時間】 午前 9:00 ~ 12:00 午後 2:00 ~ 5:00

※外科の診察時間は、午前9:00~12:00 午後2:30~4:30とさせていただきます。
(外科では、手術その他のため午後休診となることがあり、出来るだけ午前中の外来受診をお勧めします。)

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前のみ
内科	武進	友田健	岩崎良章 塩田哲也【予約】	塩田哲也	塩田哲也		塩田哲也	赤穂宗一郎 (15:30まで)	塩田哲也	内科診察医	担当医 (第1・3・5)
外科	黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		藤井洋佑 (第1・3・5)
整形外科	大橋秀基 【予約】			三谷茂 (第2・4) 【予約】				遠藤裕介 【予約】			
形成外科								稲川喜一			
眼科			三木貴子 (15:00まで)						塩出雄亮 (15:00まで)		
循環器科			寒川昌信 (第3)								
心臓血管科		古川博史 (第2・4)									
末梢血管科				松前大 (第3)							
脳神経科											難波洋一郎 (第1)
心療科											寺田整司 (第3) 【予約】
泌尿器科											小林/山下 (第1) 【予約】
婦人科								萬/山下 (第2・4)			

※第2・第4土曜日の外来診察は休診いたします。(急患はこの限りではありません。) ※予約外来については、各科外来看護師・担当医師にご相談ください。
※医師の都合で診療日が変更になる場合があります。あらかじめ職員にご確認ください。

編集後記

今年もあとわずかになりましたが、皆さんにとってこの1年はいかがでしたか。私は新春を迎えるたびに「皆が健康で過ごせますように」と願をかけるのですが、思いもよらぬ病気になったり突然に遭遇してしまう事故。そして、それらをきっかけに一番近くで関わる機会が多い私は命の尊さを感じずにはいられません。だからこそ、未然に防げるならそれにこしたことはないと思います。病院は治療

するだけの場所ではなく*1「健診」することにより健康かどうかを知り、*2「検診」することにより早期に病気を発見することもできるのです。皆さんも今一度、自分のからだに向き合ってみませんか。そして、わたしたちも新たな1年を「皆さんの健康維持・増進のために」何かお手伝いできればと思います。

(Y・T)

(注) *1「健診」…病気の因子があるか否かを見る目的 *2「検診」…特定の病気を発見、治療する目的